

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				コメント	外部評価コメント
			できている	ほぼできている	できていないこと	全くできていない		
<b>I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]</b>								
<b>(1) 理念の明確化</b>								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				「医療・介護・福祉の連携により地域社会に貢献いたします」という松涛会の理念に沿って、事業所の運営方針を掲げている。	・今後も理念に基づいた支援をお願いします。 ・適切に実施されていると思われま
<b>(2) 適切な人材の育成</b>								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			事業所の運営方針に沿ったサービスが提供できるよう徹底したい。	・今後も理念に基づいた支援をお願いします。 ・サービスの特徴、理念について全担当者が熟知すれば、よりよいサービスが提供できると思います。
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○				年間計画に沿って1回/月、研修を行っている。また、法人内研修も毎月25日行われ、外部研修への参加にも配慮した勤務体制を確保している。	・適切に実施されていると思われま ・これからも研修機会の確保を維持していただきたいと思 ・日々の研修は大事であると思
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			新規利用者や病状の変化が現れた利用者の場合などは的確な状報を与えたり受けとめるよう配慮している。	・適切に実施されていると思われま ・適切な職員配置が行えるための職員数は確保されているのでしょうか？ ・的確な情報を担当者全員が共有することは大事であると思
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			利用者の変化や疑問点があれば報告し助言を受けるよう心がけている。	・しっかりとしたアセスメントに努めていただきたいと思 ・大事なことは、変化・疑問点(新情報)を担当者が共有することは大事であると思
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適かつ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			起床・就寝準備や誘導などの援助に対応できるよう、早出・遅出の業務を遂行している。また、状況に応じてシフトをチェンジする場合もある。	・過度な負担にならないよう、職員の健康にも配慮したシフトをお願いします。 ・担当者全員の技術の向上、及び情報の共有があればシフトチェンジもスムーズにいくと思
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			推進会議で得られた意見や要望を事業所内の研修等の機会に周知している。計画作成責任者への連携、訪問介護員への周知を更に徹底していく。	・訪問介護員への周知の徹底の具体方法を教えて下さい。 ・そう願います。
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			今後はICTを活用した情報の共有を検討したい。	・ICTをどのように活用するのか教えてください。 ・現在はどのような共有方法をされているのでしょうか？

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価 コメント	外部評価コメント
			できている	ほぼできている	できていないこと	全くできていない		
			<b>(5) 安全管理の徹底</b>					
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			安全運転教育講習会への参加、夜勤者には防犯ブザーを携帯する等、交通安全、夜間の安全への対策を行っている。	適切な対応策を講じている。 ・マニュアル化されているのでしょうか。 ・職員の安全対応は大変大事なことです。更なる徹底対応を望みます。
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				倫理及び法令遵守の研修を行い、個人情報の取り扱いについて徹底している。	・今後も継続して行ってほしいと思います。 ・利用者の個人情報が外部にもれてはいけませんが、職員間の共有はサービス向上に資すると思います。
<b>II 過程評価 (Process)</b>								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				サービス状況に応じた時間や、支援内容をその都度見極めている。	・研修参加等でスタッフのアセスメント力の向上に努めていただきたいと思います。 ・サービスの理念が最大限大事なことだと思います。
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				看護師がモニタリング時にご利用者へ助言すると共に、介護支援についても維持・拡大に向けた提案・助言を行っている。	・研修参加等でスタッフのアセスメント力の向上に努めていただきたいと思います。 ・介護・看護の両論の連携がスムーズにいけば、本サービスの趣旨からして最善であると思います。
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			安全で安心した生活を維持していく上での前向きな援助を心がけ計画作成を行っている。	・前向きな支援とは具体的にどのようなものがありますか。 ・大変大事なことと思います。
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている			○		今後の状態の変化を予測すること、先を見越したリスク管理等は看護師のアセスメントに頼ることが大きい現状。今後は計画作成責任者において求められている「未来志向型」の計画作成を目指す。	・看護師のアセスメントに頼ることは悪いことではないと思います。協力しながら「未来志向型」の計画作成を目指して下さい。 ・「未来志向型」の計画作成とは何かを知りたいと思います。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の身体状況に合わせて、訪問回数や時間帯を変更するなど工夫、調整を行なっている。	・引き続き柔軟な対応をお願いします。 ・職員に過度な負担がかからない範囲で、工夫・調整で柔軟な対応が可能であれば望ましいと思います。

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価 コメント	外部評価コメント
			できている	ほぼできている	できていないこと	全くできていない		
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			利用者に目を向けた援助を心がけることで変化に気づき対策を検討するよう努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>変化に気がついた後、いかに対応するかが重要です。</li> <li>サービスが硬直化せず、臨機応変に対応することが大事であると思います。</li> </ul>
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		○			連携型の事業所であるが、社内同一フロアにおいて介護、看護が協働している。その為、連携事業所同士での協力は行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携がとりやすい環境でよいと思います。</li> <li>介護・看護の連携は「人と人」「事業所と事業所」両方で必要であると思います。</li> </ul>
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			看護職の視点からの意見や、アセスメントでの指導、助言が行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携がとりやすい環境でよいと思います。</li> <li>連携しておれば、必然的に相互に指導・助言が得られると思います(双方向)</li> </ul>
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			契約書・重要事項説明書にて、契約時に説明を行い、同意いただき、書面を交付している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「できている」にチェックされてもよいのではないでしょうか。</li> <li>本サービスでは、契約書・説明書で本人・家族に納得していただくことが大事である。</li> </ul>
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			個々のサービス内容については、訪問介護計画書により説明を行い署名・捺印をいただいている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「できている」にチェックされてもよいのではないのでしょうか。</li> <li>同感であります。</li> </ul>
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			状況の変化等については随時家族に報告している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>こまめな連絡が信頼関係を築き、トラブルの防止にもなると思います。</li> <li>同感であります。</li> </ul>

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないこと	全くできていない		
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			担当者会議で決めた日時で訪問を行いながら、援助内容の変更が必要な場合は、状況を報告し、援助内容を変更している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「できている」にチェックされてもよいのではないですか。</li> <li>必要であれば、臨機応変に対応することは大事であると思います。</li> </ul>
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			プランの見直しなど変更する場合はケアマネに提案しているが、必要に応じて提案ができるよう、インフォーマルなサービスについての情報を広く得ていく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報については、包括センターを活用していただけたらと思います。</li> <li>必要であれば、臨機応変に対応することは大事であると思います。</li> </ul>
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			現状の報告、様子をサービス担当者会議等の中で提供している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「できている」にチェックされてもよいのではないですか。</li> <li>必要な限り情報の共有が大事であると思います。</li> </ul>
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)			○		保険外サービスの利用等、必要時には多職種間で検討を行い、包括的なサポートを行いたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保険外サービスとは、どのようなものが想定されるのか、具体的に示していただければと思います。</li> <li>保険外サービス利用等の包括的サポートは利用者の利益のために必要であると思います(可能な限り)</li> </ul>
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○			必要に応じて、退院前カンファレンスへ参加する等し、情報の共有を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状で問題ないと思います。</li> <li>同感です。</li> </ul>
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)			○		サービス担当者会議で役割分担等検討はされているが、積極的に、包括的なサポート体制の構築の為に役割分担や連携方策等について協力して進める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネさんと連携し、協働していただけたらと思います。</li> <li>職員の負担増となるが好ましいことであると思います。</li> </ul>

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価 コメント	外部評価コメント
			できている	ほぼできている	できていないこと	全くできていない		
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>								
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている			○		会議議事録を作成し、回覧できるようにしているが、今後ホームページなどで開示できるよう検討したい。	・ホームページの活用期待しています。 ・個人情報保護を踏まえた、「事例」として情報発信することは必要であると思います。
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			○		定期的な介護・医療連携推進会議で情報の発信は行っているが、地域に向けてより一層周知を行う必要がある。	今後も地域に対しての情報発信に努めてください。 ・民協等において周知活動してはどうでしょうか。
<b>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○		方向性や計画を理解し努力している。	・職員みんなが理解しておく必要があります。 ・私もよく理解できていないので説明してほしいと思います。
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				在宅を中心に、養護老人ホーム、サ高住などへも支援している。	・今の姿勢を続けていただけたらと思います。 ・これからの社会、ますます必要になってきます。
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)			○		地域ケア会議への参加はあるが、まちづくりに向けた具体的な課題提起、改善策の提案は行えていない。	・地域の課題解決について話し合う、地域ケア圏域会議を開催していますので、機会があれば出席していただけたらと思います。 ・私もよく理解できていません。
<b>Ⅲ 結果評価 (Outcome)</b>								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				サービス利用により計画目標の達成が図られ、安定した生活を送れている。	・具体例を示していただきたいです。 ・今後も続くようお願いいたします。
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				サービスを導入する事で自立した生活を送られたケースもあり、家族の方からも安心できるとの声が聞かれている。	・これからも質の高いサービスの提供をお願いします。 ・私もこれらの情報を地域の方々にお知らせします。